

≡≡≡支部だより≡≡≡

日本気象学会関西支部年会をおえて

関西支部年会と総会が6月13、14日大阪合同庁舎第2号館8階共用会議室において、大阪管区研究会と共催で行なわれた。総会は13日11時～12時の間中島会員を議長に選び、旧年度会計、事業報告、及び新年度の事業計画、予算案を中心に和気あいあいのうちに終了した。今年度予算額は55万円であった。

総会にさきがけ、今年は理事の改選年に当たっているので5月23日選挙が行なわれ、下記の会員が当選された。

第11期役員

常任理事

京都大学 山元龍三郎（支部長）

大阪管区 小林寿太郎（庶務）

〃 田中 勝（〃）

〃 三宅 昇（会計）

大阪府大 伊藤 昭三（月例会）

大阪管区 大西 慶一（〃）

地方理事

京都府大 東 修三

舞鶴海洋 坂根 教園

広島地台 今田 克

〃 根山 芳晴

高松地台 安藤 章

〃 花沢 正策

会計監査

大阪管区 田村 信之

6月17日現在の会員総数は638名、うち気象庁関係者は407名（64%）で支部の内では最も大きい支部であり、且つ気象庁以外の会員の占める割合も大きいのが特徴である。

当支部の事業計画は月例会と年会の開催が主たる事業である。昭和48年度月例会開催状況は下記の通りである。

開催日	場所	題目
48. 9. 3	大阪	都市気象
48. 12. 10	〃	乱流拡散
48. 12. 21	〃	メソ気象
49. 1. 29	神戸	海洋気象
49. 2. 20	大阪	長期予報
49. 3. 6	大阪国際空港	航空気象
48. 5. 30	松江	週間予報
48. 12. 6～7	広島	瀬戸内海の海陸風
49. 1. 25	高松	瀬戸内海の霧

本年の年会は講演総数題34で例年より少なかった。このうち、5題は京都大学より発表があり、他は気象庁関係であった。近年予報関係の発表が少なくなっているが、本年も数題で代りに海陸風や大気汚染関係の発表が目立った。特別講演として、気象研究所、河村武室長に「局地風について」の講演をして頂いた。

講演題数が少なかったため、討論時間に余裕があり、活発な論議が行なわれた。

（大阪 川鍋安次）

国際測地学地球物理学連合ならびに国際水科学協会の第16回総会について

標記の会議が来年8月25日～9月6日までの間、フランス、グルノーブル市で行われることが学術会議地球物理学研究連絡委員会より連絡ありました。詳細は下記であて照会して下さい。

東京都中央区銀座6丁目15-1

国立防災科学技術センター

菅原正己